

<参考> 第2回 WS に向けたアイデア出しの要素

① ねらい

取組の目的やアウトカムをできるだけ具体的にご考案ください。

例) 動物をとおして気候危機を知り、社会の変容への関心を持つ

例) 動物園の活動をとおしてエシカルなライフスタイル・社会への気づきを提供する

例) 生物多様性との関わりの中で再エネを学ぶ (“再エネ クエスト”)

例) ゾウ糞堆肥から自然界の炭素循環を学び、自社の事業につなげる

② 対象

メッセージを伝える対象を具体的に想定してください

◆ 学齢期・年齢層

◆ 職業・所属コミュニティ

◆ 居住地 (近隣～市内外、道内外、海外)

例) 札幌市内から校外学習で訪れる小学校4年生のクラス

例) 修学旅行の自由時間で訪れる道外進学校の高校2年生の班行動

例) 社員研修の企画を検討中の在京 IT 企業担当者

例) 夏休みにアジアから旅行で訪れる家族 (両親と中高生)

### ③ 手法

下記要素をはじめ、場所や手法を具体的に想定してください

- ◆ 対人 (ガイド、ツアー、セミナー、授業、ワークショップ、…)
  - ⇒ 非対人 (展示、掲示、動画、サイン、QRコード、教材、印刷物、…)
- ◆ 園内 (〇〇舎、〇〇施設、入口、歩道、バックヤード、食堂・売店、駐車場、…)
  - ⇒ 園外 (学校、他園館、市内公共施設、公共機関、交通機関、大型小売店、…)
- ◆ アナログ (オリエンテーリング、スタンプラリー、カードゲーム、企画展示、…)
  - ⇒ IT (オンラインゲーム、アプリ、AR、…)
- ◆ 認証・登録 (RE100、建築物の環境認証、…)
- ◆ 率先実行 (各種認証製品の調達・販売、エネルギー自給率表示・公表、ブランド化、…)